

(様式4)

令和7年度 学校総合評価

6 今年度の重点目標に対する総合評価

5つの重点項目に対して9つの分掌でそれぞれ重点課題と達成目標を設定し、取り組みを進めてきた。主な変更点等として、①生徒指導について、生徒主体の交通安全道徳の規範意識の醸成②進路支援について、生徒の読解力や記述力の向上③学習活動について、社会人基礎力の「考え抜く力」の向上を新たな達成目標とした。

重点課題に定めた9課題の評価結果は、A（達成した）1課題、B（ほぼ達成した）5課題、C（やや不十分だった）3課題であった。

(1) 学習活動では3つの重点課題に取り組んだ。

教科指導の充実と確かな学力の向上を目指して、全教科科目で学習アンケートを実施し、授業改善に取り組んだ。また、年2回以上自己評価シートでチェックし、自分を振り返りさせることができた。

商業教育では、生徒の記憶定着システム（モノグサ）を活用し、隙間時間の有効活用を促進したことで、自宅学習の充実促進が図れ、高度な資格取得にも挑戦できた。

「デザイン思考」を取り入れた外部講師によるアントレプレナーシップを学び、ビジネスに新しい価値を生み出す探究的学習を「TOMI SHOP」を通じて実践的・体験的学習できた。

(2) 学校生活では2つの重点課題に取り組んだ。

社会から求められる礼儀等の基本的なマナーを身につけ、交通規範の遵守意識を高めたことから、富山県警察本部より「自転車安全利用推進校」にも認定され、規律ある生活態度で学校生活を過ごせた。

教職員や生徒向けにAED講習会や熱中症応急処置講習会を実施し、災害を未然に防ぐための術を学ぶことができた。

(3) 進路支援では、学校全体で組織的、計画的かつ効率的なキャリア教育を行い、生徒の進路実現をサポートし、進路満足度は高い目標値を達成できた。

(4) 特別活動では2つの課題に取り組んだ。

部活動では、粘り強く高い目標にチャレンジする意識を高められたので、28部中15部が全国大会出場を果たした。

進路実現に必要な書籍や社会問題に関する企画の展示を工夫し、図書館利用率増加に努めた。

(5) PTA活動では、デジタル化の進展により、会員相互の連携が今まで以上に迅速に図れるようになった。

7 次年度へ向けての課題と方策

三つの方針「スクールポリシー」を踏まえ、次のような観点から教育活動の充実を目指していきたい。

- (1) 積極的に外部人材を招聘し、デザイン思考を取り入れた課題設定力・解決力を育み、アントレプレナーシップ（起業家精神）を抱いて、ビジネスに新しい価値を生み出す主体的な生徒を育成する。
- (2) 基礎科目に関する個別指導を充実し、ビジネスの基盤となる力を育み、理解力、実践力を身につけさせる。また、高度な資格に挑戦することで生徒の学習意欲を高め、進路実現に繋げる。
- (3) 模擬株式会社「TOMI SHOP」を通して実践力を育み、社会人基礎力の育成に努める。
- (4) 周りから愛され、信頼される社会人になるため、地域社会と連携した教育活動を推進し、社会人として必要なマナーと心構えの習得に取り組み、人間力を育む。